

# 平成 24 年度 事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

## (1) ジェンダー問題に関する研究・調査

男女共同参画社会形成のための基本的な問題解決に資するため、当研究所主催の「プロジェクト研究」を立ち上げ「21 世紀におけるジェンダー研究の諸課題」という大テーマのもとに以下のような調査・研究を行った。

### ① テーマの決定

雇用労働と子育てにおけるジェンダー差別構造とその解体をめぐる研究  
— 養育の社会化をめぐる —

### ② 実施方法の決定

- ・研究期間は、平成 24 年度から 3 年間とすることとした。
- ・年度ごとに報告書を作成し、『ジェンダー研究』に公表することとし、最終的なまとめは、本研究終了時に、書籍として出版することとした。

### ③ 平成 24 年度の研究会等

- ・プロジェクト研究に先立ち、「プロジェクトテーマ検討会」を 7 回開催した。
- ・プロジェクト研究会 (6 回) と公開プロジェクト研究会 (2 回) を開催した。
- ・『ジェンダー研究』第 15 号に「プロジェクト研究の実施」を掲載した。
- ・研究に参加するメンバーを集め、また共同研究参加者を公募した。
- ・研究をすすめるための事務体制を整備した。

## (2) ジェンダー問題に関する研究への助成

### ① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上助成した。

- ・募集期間 平成 24 年 5 月 1 日～5 月 31 日
- ・応募総数 29 名
- ・審査委員会 第 1 次選考 平成 24 年 6 月 21 日 当研究所にて選考会議  
第 2 次選考 平成 24 年 7 月 17 日 当研究所にて選考会議  
第 3 次選考 平成 24 年 9 月 11 日 当研究所にて選考会議

#### ・受託者 (4 名)

- \* 尹 ジン喜 (ユン ジンヒ)

(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科研究院研究員)

韓国における女性脱北者の生活世界と生存戦略

— 女性脱北者のライフヒストリーに注目して

- \* 柳原 恵 (ヤナギワラ メグミ)

(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際研究専攻  
博士後期課程)

麗ら舎の〈おなご〉たち

—岩手におけるウーマンリブのライフヒストリー—

\* 坂井 博美 (サカイ ヒロミ)

(大妻女子大学 非常勤講師)

家事使用人の法的位置付けにみる戦後初期日本の労働・ジェンダー・家庭

—労働基準法制定過程の分析から

\* 清原 悠 (キヨハラ ユウ)

(東京大学大学院学際情報学府 博士課程)

女性たちのアイデンティティと戦後日本の住民運動

—ライフヒストリーと歴史社会学の視座から

・助成金額 計 1, 200, 000円

## ② 団体研究助成

ジェンダー問題に関する研究会を公募し、選考の上助成した。

・募集期間 平成24年5月1日～5月31日

・応募総数 9件

・審査委員会 第1次選考 平成24年7月17日 当研究所にて選考会議

第2次選考 平成24年9月11日 当研究所にて選考会議

・受託団体 (4団体)

\* フェミニズム理論研究会

20世紀初頭のラディカルフェミニズムとその周辺

—日米欧の比較研究—

\* 京都YWCA次世代サポート研究会

青少年を対象としたデートDV予防教育プログラムの開発に関する一研究

—Power Pointによるハンディラーニングプログラムの開発と効果について

Part2—

\* 身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会 (略称: BG研究会)

ジェンダー論の現状と課題に関する学際的研究

—ジェンダー・バイアスのない身体・性・生命・暮らしをめざして—

\* 特定非営利活動法人 リソース・エンパワメント・ネットワーク REN 新たな経済

社会潮流の中での男女共同参画センターの役割研究プロジェクト

新たな経済社会潮流のなかでの男女共同参画センターの役割についての検討

・助成金額 計 600, 000円

## (3) ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

公益財団法人の設立記念及びジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会等を開催した。

① 設立記念講演会

- ・テーマ 21世紀のまちづくりとジェンダー  
ードロレス・ハイデンが提起するフェミニズム建築学
- ・講師 佐藤 俊郎氏（環境デザイン機構 代表取締役）
- ・日時 平成24年11月11日（日）13：20～16：45
- ・会場 名古屋都市センター 特別会議室
- ・後援 内閣府男女共同参画局
- ・参加費 無料
- ・参加者 72名（定員100名）

\* 設立記念講演会終了後、第1・第2会議室でティーパーティを開催した。

## ② 働く女性のカフェ

### ・第8回「働く女性のカフェ」

テーマ：原爆をめぐる神話と真実—原爆と原発は同根の技術

講師：日野川 静枝氏（拓殖大学教授）

日時：平成24年10月14日（日）13：30～16：15

会場：名古屋都市センター 第3・第4会議室

参加費：無料

参加者：44名（定員50名）

### ・第9回「働く女性のカフェ」

テーマ：経済成長は必要なのか？—私たちの求める社会とは

講師：安川 悦子氏（名古屋市立大学名誉教授、当研究所理事）

日時：平成25年2月17日（日）13：30～16：15

会場：東海ジェンダー研究所 セミナー室

参加費：無料

参加者：41名（定員30名）

\* この事業は、ワーキング・ウーマンとの共催で実施した。

## ③ 個人助成受託者報告会

平成23年度の個人助成受託者が、研究成果を発表するための報告会を開催した。

- ・日時 平成24年7月28日（土）13：20～16：30
- ・会場 東海ジェンダー研究所 セミナー室
- ・報告者 杉本 弘幸氏（京都工芸繊維大学・佛教大学・龍谷大学非常勤講師）  
大木 直子氏（お茶の水女子大学リサーチフェロー）  
橋本 嘉代氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際研究専攻博士後期課程）
- ・参加費 無料
- ・参加者 22名（定員24名）

## ④ 賛助会員のつどい

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため公開して実施した。

- ・テーマ 医療におけるジェンダー問題  
～不育症（特に反復流産）の心理的苦痛とその支援をめぐって～
- ・講師 中野 有美氏（椙山女学園大学准教授）
- ・日時 平成 25 年 1 月 28 日（土）13：30～16：00
- ・会場 名古屋都市センター 大研修室
- ・参加費 無料
- ・参加者 29 名（定員 50 名）
- \*賛助会員数 207 名（平成 24 年度末現在）

#### （４）年報及びニューズレターの発行（広報・出版活動）

##### ① 年報『ジェンダー研究』第 15 号の発行

依頼論文・公募論文(史料紹介を含む)を掲載した。

また、当研究所のプロジェクト研究の実施概要、平成 23 年度の事業報告等も掲載した。

- ・論文応募期間 平成 24 年 5 月 1 日～8 月 31 日
- ・論文応募総数 11 名（一般 6 名、個人研究助成受託者 5 名）
- ・審査委員会
 

第 1 次選考	平成 24 年 10 月 12 日	当研究所にて選考会議
第 2 次選考	平成 24 年 10 月 19 日	当研究所にて選考会議
第 3 次選考	平成 24 年 12 月 7 日	当研究所にて選考会議

- ・発行月 2 月
- ・発行部数 670 部
- ・掲載内容

依頼論文	2 件
公募論文	4 件

##### ② ニューズレター『LIBRA』第 45・46・47 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

- 発行月 7 月（45 号）・10 月（46 号）・3 月（47 号）
- 発行部数 各 1,100 部

#### （５）他事業への助成

##### ① 寄附講座

- ・科目名 「性とジェンダーと B」 2012（共通教養科目）
- ・実施先 和光大学現代人間学部
- ・期間 平成 24 年 9 月 15 日～平成 25 年 1 月 8 日 8 回（隔週土曜日）
- ・受講生 和光大学現代人間学部・表現学部・経済経営学部 各 1－4 年生
- ・参加者 54 名（講座登録者）

##### ② 後援（日本スポーツとジェンダー学会 第 11 回大会）

- ・大会テーマ 「開発におけるジェンダーとスポーツ」
- ・基調講演 「開発と健康」 講師：原 ひろ子氏（城西国際大学客員教授）

- ・シンポジウム 「開発におけるジェンダーとスポーツ」  
甲斐田きよみ氏（元 JICA 派遣専門家、名古屋大学大学院国際開発  
研究科博士課程）ほか 2 名

- ・日 時 平成 24 年 7 月 7 日(土)～7 月 8 日(日)

- ・会 場 学習院女子大学 2 号館

- ・主 催 日本スポーツとジェンダー学会

③後援（日本学術会議公開シンポジウム）

- ・テーマ 雇用崩壊とジェンダー

- ・報 告 中野麻美氏（弁護士）ほか 3 名

- ・コメンテーター 大沢真理氏（東京大学・学術会議会員）

浅倉むつ子氏（早稲田大学・学術会議会員）

- ・日 時 平成 24 年 10 月 13 日（土）

- ・会 場 日本学術会議講堂

- ・主 催 日本学術会議・社会学委員会複合領域ジェンダー分科会

④後援（身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会講演会）

- ・テーマ 『卵子提供』を考える－医療機関の調査を素材に

- ・講 師 中塚 幹也氏（岡山大学医学部保健学研究科教授）

- ・会 場 東海ジェンダー研究所 セミナー室

- ・主 催 身体・性・生命・科学におけるジェンダー問題研究会

**(6) ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と情報提供**

次のような図書、資料を収集し、情報提供を行った。

- ・プロジェクト研究に関する図書・資料の収集 図書：133 冊 資料：80 点

- ・ジェンダー問題に関する図書の購入、寄贈 26 冊

- ・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など）の収集 52 点

**(7) その他当研究所の目的を達成するために必要な事業**

①ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出

平成 24 年度利用登録 12 団体 年間利用件数 98 件（平成 23 年度 71 件）

②ジェンダー問題に関する会議への出席

「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への参加

平成 24 年 7 月 4 日、平成 24 年 10 月 22 日